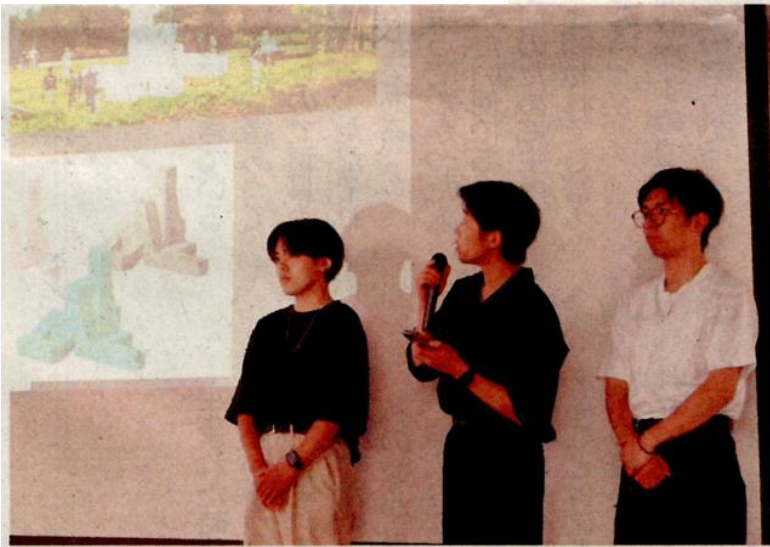


デーリー東北

2023年(令和5年)7月22日(土曜日) (16)

八戸

八戸工業大(坂本禎智学長)が六ヶ所村観光協会(及川次夫会長)とコラボし、同村の特産品販売施設「六ヶ所館」のモニュメント制作プロジェクトに取り組んでいる。10日、学生によるデザイン案の発表会が同大で開かれ、学生は自由な発想で意見を出し合った。プロジェクトには、同大感性デザイン学科3年生を



六ヶ所村「六ヶ所館」のモニュメント 八工大生がデザイン案

中心に約50人が参加。4月には実際に六ヶ所館を訪れ、模型やパネルを作成しながら構想を練ってきた。

発表会には、同協会や実際に制作に携わる六ヶ所エンジニアリングの関係者らが出席。学生は「おどろきと感動」、「インスタ映え」をテーマに、13グループに分かれて案を発表した。

数字の6を組み合わせてデザインした「66六ヶ所」や、スタンドグラスのように光を透かせる葉のモニュメント「六ヶ所希望の葉っぱ」など、斬新なアイデアを披露した。

参加した同大3年の東海林創さん(20)は「六ヶ所村が発展するよう思いを込めた。観光客に興味を持ってもらうきっかけになってほしい」と話した。

今後、同協会と同社で発表案を検討し、11月以降にモニュメントが設置される予定。
(才神利奈)

モニュメントのデザイン案を発表する学生

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。